

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	◎現状 開催できていない。 ◎問題点 開催日程の調整が出来ていない。 ◎課題 開催日程の調整。	2ヶ月に1回の開催	メンバーに家族を多く入れることで家族の出席をしやすいとする。 開催日程、曜日を決めておく。	12ヶ月
2	2	◎現状 家族等の訪問も多く、トライやるの受け入れ、傾聴ボランティアの訪問等地域とのふれあいの場は増えつつある。 ◎問題点 入居者が他者の訪問等が理解できにくく混乱の原因となることがある。ADLの低下により外出も負担となる入居者もある。 ◎課題 職員が地域資源導入を理解し、入居者との橋渡しができるだけの余裕がない	地域との交流が活発にできる	職員が働く中で余裕を持つこと。今以上に入居者との関わりを密にし、他者との交流の機会を増やし、地域に出向く、ボランティア等を受け入れ時に混乱なく過ごせるようにする。	12ヶ月
3	49	◎現状 日常的な外出としての実績はなく、周囲の散歩程度である。家族との外出は増えている ◎問題点 体力、意欲に個人差がある。 ◎課題 個別対応が必要。	定期的な外出の機会の提供	集団にこだわらず、個別対応で、少人数ずつの夕食やドライブの機会を提供する。	12ヶ月
4	26	◎現状 入居者、家族との会話の中より聞き出し計画を作成 ◎問題点 計画実現に向けて支援されているか記録としてあらわれていない。 ◎課題 介護記録の書き方	介護計画達成に向けてサービス提供実施が表現できる記録が書ける。	介護計画の理解と介護計画に沿ったサービス提供記録が書けるよう、職員のスキルアップ研修参加。	12ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。